



アンビシャス



秀活(しゅうかつ)
輝かしい未来へ

表紙は語る

「進行性骨化性線維異形成症(FOP)」

アンビシャス通信

9月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンネル

シリーズ 第43回

『患者学』 加藤 眞三教授

アンビシャス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

平成30年度

セカンドオピニオンのご案内

平成31年度【1月開講】

障害者委託訓練生募集

表紙は語る 渡久地 優子（とぐち ゆうこ）さん 進行性骨化性線維異形成症（FOP）

秀活（しゅうかつ）〜輝かしい未来へ〜



いつも支えてくれる母親との一コマ

iPS細胞からの研究で、FOPの研究も少しずつ進み、今年、治療まで進んだ事は夢のよう。

要介護・介助となり、30年弱。これまで、母を中心に家族に頼る生活をしてきました。

2年ほど前、右肘が更に悪くなり、杖も使えなくなり、一人では動けなくなりまりました。

ショッピングはネットが主になりましたが、服選びも限られてきて、着やすそうな服を買ったり、不慣れた簡

所は、母がボタンやゴムを付けてくれたりと、助けてくれていて、本当に有難いです。

履物は、当たり外れがあるものの、履き心地抜群のサンダルを見つけ、室内用は、3〜4年そのメーカーのサンダルを購入しています。外出用は、ちよつとオシヤレを中心に。

以前、外国の同病FOP患者がテレビで紹介されていて、同じように爪先立ちになる彼女は、ハイヒールを楽しんでいました。病気で、オシヤレを楽しみたいなあと思います。

病気の進行は慣れた感もあるものの、生活スタイルを変えなきゃと思うようにもなりました。転機は、心筋梗塞になり入院した時かもしれません。看護師の、下の世話や食事介助を受け、「他人でも大丈夫かもしれない」と初めて思いました。

以前、署名活動をしていた時は、福祉制度の事なんて分からなかった。ヘルパーを利用するまでは、利用するまでの流れや、相談員さんが付く事も分からなかった。

気分転換も兼ね、ショートステイを利用してみようかなと思うようになり、施設の見学に出向きました。そこで出会ったのが、今の相談員さん。そこから、ショートステイを2泊3日で利用する事になりました。

しかし、想像と現実の違いなのか、2泊3日は呆気なく逃げ出し、1泊2日になり、その後、最終的には半年で終了となりました。

同時に利用を開始していたのが訪問ヘルパー。お風呂の介助を頼み、初めは1人での介助をして貰っていましたが、今夏から、リクライニング式シャワーチェアを利用したいと思い、二人体制にしようと、浴室も改装し、ヘルパーも、二人体制の可能な事業所に変更しました。また、月イチで、口腔ケアの先生も来てくれるので、安心です。

40歳すぎるまで、ヘルパーを利用する事もなく、地域との関わりも持たずに来ましたがヘルパー利用という一つの扉を開けてからは、心もラクになりました。



姉と姪っ子でカラオケ・ハウスでエンジョイ

自分の人生を、どう快適に過ごすが課題となった気がします。同時に、母の不安も和らいだのかなと思います。

ヘルパー事業所は、いくつかが有るものの、自分の生活スタイルに合う事業所は、やはり少ないかもしれません。いつまでも元気、健康だと思いがら、知らず知らずには人は年を取る。気付いた頃には、心配事が増えていたりもする。テレビでは「終活」や「断捨離」の話題をよく目にします。それは、安心して生きて行く為の事だと思えます。

誰もが誰かの世話になるかもしれない、その時が来る前に、誰かと関わって安心して暮らしたい。

私は、障害、難病でも不幸だと

思った事がありません。進行が壁だとしても、乗り越える楽しさがある。楽しさという表現は良いのか分からないけれど、小さい頃から「出来ない」事や、「出来ないと言う事」が嫌いでした。やれば出来る、工夫すれば出来る。色んな知恵を出す事が好きでした。

今は、出来ない事を頼る、お願いする。そして、シンプルな生活にするためには断捨離をしていく。なくても良いもの、必要最小限のものへ。

昨年末から今年の春先まで、原因不明の体調不良を起しました。寒い、食欲が無い、食べても下す、の悪循環。私にも更年期が来たのかなと思いつつ、元々の下痢体質も改善したくて、右往左往しては、ネット検索。そこで低フォドマップというワードに辿り着き、目からウロコ状態。アレルギーとは異なり、自分に合う・合わない食材がある事でした。また、体調不良の時に漢方を処方して貰ってからは、漢方にも興味を持ち、調べては、自分に合いそうなものを調べ、処方して貰い、今は落ち着いている。

体調不良の一つに、元々の冷え性に加え、低体温の様にも成っていました。最大の要因は、なんと昨年10月から使用している「機能性エアマット」。去年末から今年初めの冬は、

とても寒く、そんな寒い時に、どんどん体は冷え、カイロや湯たんぽを使用しても寒い。何となく検索していると、エアマットで冷え、体調を崩したり風邪になるお年寄りがいるとのブログの記事。

そこにあつたのは、エアマット上の温度。使用している側からすると、常に25℃26度で、扇風機に当たっている感じ。だから、ずっとスースーと、体中が冷えていたのかと。

その記事も、目からウロコ状態でした。幸いにも、冷え防止・蒸れ防止機能付きだったお陰で、冷え防止のスイッチを押すと温かくなり、35度程に設定されるとの事で、冷房の効いた部屋でも、冷えずに快適になりました。また、冷えの大敵でもある自律神経を良くする為にも、ベッド上で日向ぼっこをする様に成り、何よりも冷え対策として温活をする様にもなり、夏でも白湯や温かい飲み物を摂る様にもなりました。

衣食住は大事だと言われるけれど、ヘルパーを利用するようになり3年余り。自分に合った衣食住は、身も心も安心出来るように思う。穏やかな安住の地が、我が家である事になるよう、周りの支援を受けながら、楽しく出来たら良いなあと思っています。

来年は、天皇も元号も変わりますが、今や人生100年時代だともいう。そんな時代に、より良い生活を目指す意味で、タイトルを終活ならぬ「秀活」としました。

家族や相談員さん、ヘルパーさん達や、主治医達に支えられながら、ワクワクしていききたいですね。

毎月7ページの『おすすめ映画情報』と占いコーナーを担当していただいている渡久地さんは、これまでに2度『表紙は語る』にもご寄稿いただいています。

掲載記事

アンビシャス会報誌54、会報誌148
アンビシャスホームページより閲覧可です。

語者プロフィール

渡久地 優子 (とぐち ゆうこ)さん

昭和46年沖縄市生まれ、うるま市在住。

FOP患者会の発起人&患者会元代表。

2007年3月全国より130万人もの署名を集め、

「進行性骨化性線維異形成症」を国の研究事業対象とすることを勝ち取る。(現在は指定難病331の対象疾患) 沖縄タイムスにて闘病記を2007年2/8より5回連載。

【趣味】 ネット、映画&音楽鑑賞、心理学、探究

【日課】 ネット交流、メール、電話

【現在活動】 精神疾患や障害関係の不定期「女子会」

9月の報告

あれこれ



三和金属様よりのご寄付

9月13日(木)三和金属株式会社様より10万円の寄付を頂戴しました。同社は、常に地域に貢献するという企業理念のもと、創立記念日に毎年のように県内の50近くの福祉団体へ収益の中から継続的に寄付されています。三和金属の社員の皆さま本当にありがとうございます。



また9月は有限会社セイアン様、異業種横断親睦模合で毎月寄付を継続されている驥尾の会、個人で毎月継続的に寄付されている皆様や匿名の寄付の方など、多くの寄付をお寄せ頂きました。

アンビシャスの難病支援活動はこの様に多くの皆様に支えられています。ここに改めて深く感謝申し上げます。

ハローワーク那覇より出張就労相談

アンビシャスではハローワーク那覇と連携し、毎月1回「難病患者就職サポーター」による出張就労相談を行っています。

9月のご相談の方や、他の方のご相談の事例を詳しくお話しすることはできませんが、職場のちょっとした配慮さえあれば、難病をお持ちの方でも十分にその能力を活かし、働ける方がたくさんいらっしゃいます。中には病気のことを伝えておらず、無理がたたり体調を崩して退職される方も見受けられます。

難病をお持ちの方にとり現状の

就労環境はけっして充分とは言えませんが、それでも長い療養生活を支えるうえで就労は大切なことだと思います。

現在、就労中だが難病であることを職場に伝えた方がいいか、難病患者の就労を支援する制度にはどのようなものがあるか、どのような仕事が自分には適しているか等を、求職活動中、就労中を問わずハローワークの「難病患者就職サポーター」へ相談してみませんか。



ハローワーク窓口での相談だと、多くの求人希望者がいることも

あり、自分の希望をちゃんと伝えられることが難しいのですが、この出張相談ではお一人1時間と充分時間をかけ、相談者のご希望などをお聞きすることが出来ます。

ご相談は原則、毎月第3火曜日14時から16時、お一人1時間となります。就労を希望する方のお申込み、お問合せをお待ちしています。

(予約制となりますのでご希望の際は
お電話ください。)

お問合せ

098・9511・0567

(担当) 森または照喜名まで

こころの現場から

ひとの目をみて話をするといいこと

現代は、ひとの目を見なくても、つまり、実際にひとに会わずにコミュニケーションをとることができている時代です。会わなくても相手ができるような生活を送っているのか、どのような状況に居るのか等が、SNSで簡単に知ることができるようになりました。これは文明の利器による人類の進歩ですが、置き去りにされてしまった大事なものがたくさんあるといえます。

会えない相手が今何をしているのかと想いを馳せ、会える時間を大事にするという、ひととしての相手を尊重することが軽んじられ、共に時間をすごす努力が少なくなっているようです。実際に会うことを約束したひとが、目の前にいても、そのひとの目をほとんど見ずにお互いに携帯の画面を見て、他の空間にいるひととの文字だけの関係にいそんでいる状況は、これはある意味でこころの大事な部分がどこかに置き

去りにされて忘却の彼方にあるような、人間存在における危機をも感じるので。

ひとの表情や声のトーン、醸し出される雰囲気、瞬間で現れるこころの機微、それらがひととしての大事な部分を表現しています。

近年「空気が読めない」とか「発達障害である」等が注目されスポットライトが当たっていますが、その背景には、ひとが目の前にいるひとのことを大事にできなくなっている真実が隠されているように感じられます。

まずは直接会うことができるひととは目を見て、相手の表情やしぐさを見て、その場に流れる雰囲気を感じ取り、話をしてみるのも良いと思います。日々の生活で潤いを感じ、ひとと直接かわるることによって、自分をたいせつにしてくれるひと、たいせつなものや改めたい作業をしてみるのはいかがでしょうか。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つぶやきチャンネル

台風対策で大規模災害を乗り切ろう

とうとう沖縄本島でも大規模な停電が発生しました。今回の台風24号は各地に甚大な被害を及ぼした。この様に長時間に及ぶ停電がいつ頃あったのかも思い出せないくらい久しぶりの出来事でした。本島地方では近年、台風が接近してもせいぜいイベントの中止や、会社や学校が休みになるくらいで済みました。が、長時間の広域停電による影響の大きさは、私たちが普段いかに電気に依存した生活を送っているかと思えば、断水した、などと生活の質の低下を県民全体で認識を改めた出来事ではありません。

北海道でブラックアウトした事が、我が身には起こらないだろうという思い込みも今回の反省点だと思います。更にいえば、人工呼吸器や、酸素濃縮器など電気を使う医療機器を使用している方は、停電が直接、命に関わることを知っていて欲しいのです。何か手伝えることがあれば、相談してください。電気は貯める事や家庭で作る事も可能です。電気をより安全に、より安く確保出来る方法を共に考えて情報交換しましょう。沖縄にも活断層はあります。いつ地震がくるのかは判りません。東京都は11月19日を「1年に1回は、備蓄(19)を」と推奨しています。電気以外の食料などの備蓄も用意しましょう。



著:照喜名 通



シリーズ「患者学」第43回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

医療の歴史から新しい時代の医療を俯瞰する

その5

これから対話の時代へ

前号では、パワハラがまかり通る上下の関係の時代が終わりを告げようとしていることを述べました。では、その後には、どのような時代がやってくるのでしょうか。それは、水平の関係で対話をする時代です。

対話とは、討論のようにどちらが正しいとか、どちらが勝つというものではありません。あるいは、片方が一方的に指示をして、他方はそれに従うだけという関係でもありません。

対話とは、お互いが対等の立場であることを認め合い、話し合い、相手を尊重しあうことによつて、新しい視点による妥協点を見いだすという行為です。しかし、このような対話に日本人は余り親しんでこなかったのかも知れません。

恐らく上下の関係は特に明治

維新の近代化以降に厳しさを増したものと思われれます。古くの日本には「和をもつて貴しとなす」という文化もあつたのですから。

医療における対話

医療においても、パワハラとは言われなくても、患者さんをおどすことにより医師に従わせるという「おどし医療」は存在してきました。

「○○の治療を受けなければ、病気が進んで半年以内に死んでしまうぞ!」「患者はそんなことは知らなくてよい」などと激しい言葉を主治医から浴びせられたという話を患者さんから聞くことも稀ではありませんでした。

特に、主治医の側が標準治療を受けさせたいと思ひ、患者が医師の思うとおりに受けられない場合には、なおさらです。それなら医療を受けるなと脅されることもあつたのです。

そもそもガイドラインは医師が患者に従わせるためにあるものではありません。それを対話する土台にして、医師と患者が医療の方針を話し合うために作られたという歴史的な背景があります。事実、米国のガイドラインにはそのようなことが明記されているのです。

標準治療は、ある程度の科学的な根拠に裏付けられて推奨される治療ではありますが、それは多くの人で調査をしたときに統計的に有意な差があつたというだけであり、必ずしも全ての患者さんに適している、あるいは患者さんがそれを選ばなければならぬという治療ではありません。

患者と医療者がお互いに情報を提供し、持ち寄ることにより、その人にとつて最も適したものを選べばよいのです。しかし、医療者の側も患者の側もこの様な関係性で話し合うことには不慣れです。

対話をする練習をする場としての公開講座

慶應大学の公開講座「患者学」は、医療において対話をすることを練習する場として開催していま

す。患者と医療者が対話をするためには、両者が水平の関係にあることを前提としなければ始まりませんが、対話をするとそのことによつて水平の関係性がより強化されるといふ側面があります。したがつて、とりあえずそういう関係を創るための練習の場が必要になるのです。

このような練習の場が日本全国に広がれば、そこに新しい医療の文化が誕生すると信じています。

次号に続く

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。

患者の力:
患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社: 春秋社

「患者には力がある!」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



東洋経済オンラインに加藤先生による

「市民のための患者学」連載配信中!

<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>

沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2018年 11月の各団体定例会・交流会スケジュール



団体名	日(曜日)	時間	場所
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	10日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
あいのかい 愛・Eyeの会(宮古地区・網膜色素変性症患者会)	10日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	11日(日)	16:00~18:00	サンアビリティーズうらそえ 研修室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	14日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所 3階
神経難病友の会八重山	15日(木)	14:00~16:00	石垣市健康福祉センター ボランティア推進室
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	17日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
全国筋無力症友の会沖縄県支部	17日(土) 18日(日)		山原一泊みかん刈り(宿泊ゆがふいん おきなわ) 参加費5,000円(詳細) 090-7479-8841 上原迄
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	20日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ 研修室2
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(木)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。
全国膠原病友の会・沖縄県支部(中部地区)	24日(土)	14:00~16:00	沖縄市社会福祉センター会議室 (沖縄市住吉1丁目)

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。

患者団体からのおたより

とうんがらの会

(宮古神経難病・患者家族のつどい)より

とうんがらの会では毎月第2、第4金曜日にポールウォーキングの練習会を行っています。

始めてから4年くらい経ちます。最初の頃は7人くらいの参加者がいましたが、現在は2、3人か私ひとりの時もあります。参加者が少ない事を理由に來なくなる方もいます。

ポールウォーキングの良さを知りながら來ないのは、もったいないです。

参加者が少ないと企画を立てても企画倒れになる場合もあり、何とか会員を増やしたいと思っていたところ、地域包括支援センターから協力したいとの話がありました。

「最近パーキンソン病の患者さんとの関わりが多くなってきたが、分からない点が多いので、もっと知識を得て理解したい。」とのこと、とうんがらの会にとっても願ったり叶ったりの話で、お互い協力することにしました。

9月29日勉強会と称して最初の集まりを持ちました。支援センターの職員ふたりと会員5人の計7人で始まりました。自己紹介をして、各自の症状などを説明したり質問したり、中には新しい会員もいて病名が分かった時毎日泣いてくらししていたとうんがらの会が在って良かった。涙を浮かべながら語ってくれました。仲間がいると安心するし心強く感じるものです。楽しく有意義な2時間でした。

宮古島在住の神経難病のみなさん、一人で悩まず仲間と気軽に情報交換をしませんか。

連絡先 080-1153619287 (砂川)

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒島	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jp.org
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉) 090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	(島田) 090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(又 吉) 電話:090-3797-4125 南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174
神経難病友の会八重山	黒島 里枝	(黒島)090-5470-7485
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	(砂川)080-1536-9287
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	(祖堅)090-1941-5758 (仲榮眞)090-6856-9274

編集後記

うだるような猛暑もようやく終わり、ここ沖縄も秋めいてまいりました。一ヶ月ほど前の2つの大型台風襲来で長時間の停電や街路樹の倒壊等、各地で被害が大きく、後片付けに追われる毎日でしたが、そろそろ落ち着いた頃かと思えます。

このところ毎月、当誌で照喜名が述べている様に災害はいつやってくるか分かりませんが、常に備える心構えを忘れないようにしたいものです。

さて今月の「表紙は語る」は進行性骨化性線維異形成症の渡久地さんです。病状の進行で最近杖を使うこともままならない状況なのですが、それでも周りの支援を受けながら、持ち前の好奇心と向上心で、分からないことはネットで調べたりしながら生活をエンジョイしている様子がうかがえます。

渡久地さんの難病情報誌「アンビシャス」へのご寄稿は今回で3回目、過去2回の記事は、アンビシャスのホームページでもご覧いただけますので、併せてお読みいただければ幸いです。

その難病情報誌「アンビシャス」も年明け1月で通巻200号を迎えます。今月もお読みくださりありがとうございます。そして200号もお楽しみに。

文仲村明



2018年11月の各保健所からのご案内

- 【北部保健所】Tel:0980-52-2704 11月の予定はございません。
 【中部保健所】Tel:098-938-9883 11月の予定はございません。
 【南部保健所】Tel:098-889-6945 11月の予定はございません。
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962 11月の予定はございません。
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241 11月の予定はございません。
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447

「血液系疾患 難病医療講演会・相談会」の開催について

- 【日時】平成30年11月12日(月) 14:00～16:00
 【場所】宮古保健所健康増進室
 【対象者】血液系疾患の難病患者及び家族、支援者
 【演題】『指定難病(血液系疾患)の病気及び治療について』(仮題)
 【講師】友寄 毅昭先生(南部医療センター・こども医療センター 血液腫瘍内科副部長)

平成30年度セカンドオピニオンのご案内

下垂体系疾患、無料医療相談会

- 【日時】平成30年11月12日(月)14時30分～16時30分
 【医師】池間 朋己先生(琉球大学附属病院)
 【対象者】下垂体関連疾患の患者および家族
 【定員】4組(1組30分 先着予約制)
 【場所】沖縄県難病相談支援センターアンビシャス(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階)
 【問合せ】098-951-0567(担当 照喜名) 平日10時～17時まで(土・日・祝祭日休業)

平成31年度【1月開講】障害者委託訓練生募集

【募集期間:平成30年11月1日(木)～平成30年11月22日(木)】

知識・技能習得訓練コース…ワード・エクセル等のソフト操作を身につけ文書作成から表計算処理等、
 一般事務・経理・営業事務等で必要とされる技能を習得する。

コース名	定員	訓練期間	募集対象	訓練場所	委託先
パソコン ビジネス科	10名	平成31年 平成31年 1/4～3/29 【3か月】	身体(上肢、下肢、視覚、聴覚、 内部障害)、精神、発達、 その他 (高次脳機能障害、難病等)	那覇市	(株) ワイエムシイ

※受講料無料(保険料・テキスト代等は自己負担)

※詳しくは、浦添職業能力開発校へお問合せください。 **お問合せ先:098-879-2560**

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社 アイアム ●株式会社 いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社 ぽーしょん ●匿名2名

9月のご寄付 ●大濱 博徳 ●赤嶺 竹哉 ●三和金属株式会社

●有限会社 セイアン ●匿名1名

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

9月のご支援・ご協力

●難病情報誌197号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●全保連コントロールセンター ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわー
- フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房 ●ただこポウル
- 西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し ●ホテルまるき ●水のサンクス
- 株式会社メガネ一番 ●株式会社琉薬 ●恒和ペイント株式会社 ●さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●山城二輪
- ギャラリーカフェ 海ばたー ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
- 豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●オリオンビール株式会社
- 沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●串焼き屋あだん ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
- 社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●株式会社かりさら ●ジョッキハウス ●有限会社だいにちシール ●沖縄県栄養士会
- 株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所 ●株式会社クオオサ
- 医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷
- 株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール
- 水のサンクス ●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長堂材木店 ●株式会社アース ●プログレス
- 有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護ステーション ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜
- 中部協同病院 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 表飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり
- 友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科 ●かなしる内科
- いくみ皮ふ科クリニック ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二 ●訪問看護ステーション みかん
- 外間眼科 ●西崎病院 ●岸本 外科リハビリクリニック ●大宮医院 ●きなクリニック ●しんざと内科 ●伊佐内科クリニック
- 愛聖クリニック ●沖縄病院 ●稲福内科医院 ●牧港眼科 ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院
- こぼし内科クリニック ●恩納クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科 ●株式会社ケイオーパートナーズ
- なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院 ●はびねず訪問看護ステーション ●有限会社 タカラ
- りゅうしん老人訪問看護ステーション ●すながわ内科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●岸本外科医院 ●玄米クリニック
- いちょう内科あしとみ ●同仁病院 ●下地第2脳神経外科 ●松岡医院 ●まつおTCクリニック ●かなさん内科クリニック
- 沖映通り眼科 ●まみ皮フ科クリニック ●又吉内科クリニック ●訪問看護ステーション はっぴー ●りんご調剤薬局 浦西店
- 訪問看護ステーション あんじゅ ●ハーモニー薬局 ●くすみ薬局 ●和ごころ薬局 さつき店 ●空と海とクリニック
- 聖隷訪問看護ステーションゆい ●訪問看護ステーションこころのかて ●那覇かなぐすく皮膚科 ●ねたて内科クリニック
- エクスプロア訪問看護ステーション ●訪問看護ステーションいやしの邦 ●沖縄メディカル訪問看護ステーション
- まなざし訪問看護ステーション ●神谷医院 ●さざん歯科まえた

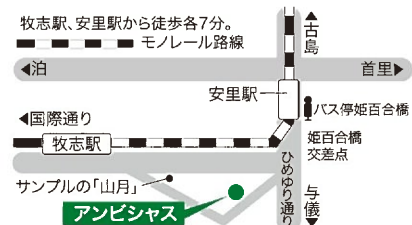
難病無料相談 (電話・来所・メール・FAX) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ✉soudan@ambitious.or.jp

平日10:00～17:00 (休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)
Tel:098-951-0567(代表) http://www.ambitious.or.jp
発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています!



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの断、しませんか。
Answer. for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer. for you. TOYOPET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案



株式会社クオサ
kuosa

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel: 098-879-0162 Fax: 098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel: 098-051-1600 Fax: 098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古島市平良松原534-6
Tel: 098-079-5751 Fax: 098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし

土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

就労についてのお悩み、
一人で悩まず相談してみませんか?

- ・利用できるサービスを知りたい。
- ・難病であることを周りに伝えた方がいいだろうか?
- ・難病の方の就労にどんな配慮が必要か? … etc

難病をお持ちの方、事業主の方など、
お気軽にご相談ください!! 相談は**無料**です。

沖縄県難病相談支援センター アンビシャス
Tel:098-951-0567 Mail: info@ambitious.or.jp



みくに株式会社 系数盛夫

【本社】沖縄県糸満市真栄里2021-10番地
【営業本部】沖縄県宜野湾市嘉数1丁目967番1

